

学 力 検 査

国 語

注 意

- 一 指示があるまでは、この冊子を開いてはいけません。
- 二 解答用紙は、この冊子の中に、はさんであります。
- 三 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。ただし、の欄には、何も書いてはいけません。
- 四 字数を指示した解答については、句読点、かぎ（「」）なども一字に数えなさい。
- 五 検査問題は七ページで、問題は一から五まであります。

一 次の①～⑩の傍線部について、漢字は平仮名に、片仮名は漢字に改めなさい。

- ① 淡い色の服を着る。
- ② 管理者の許諾を得る。
- ③ 卓越した技術を世界に示す。
- ④ 業務が繁忙を極める。
- ⑤ 公園は市民の憩いの場だ。
- ⑥ 意味が二た言葉を調べる。
- ⑦ 劇で主要な役をエンじる。
- ⑧ 落とし物をケイサツに届ける。
- ⑨ キンペンな態度で働く。
- ⑩ 大人数の部員をタバねる。

二 次の文章は、陸上部に所属する高校一年生の坂東が、京都で行われる全国高校駅伝大会に出場した場面を描いたものである。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権に配慮して  
掲載を控えています

著作権に配慮して  
掲載を控えています

## 著作権に配慮して 掲載を控えています

「八月の御所グラウンド」(万城目学)による。

(注) ダミ声<sup>1</sup>濁った声。

咲桜莉<sup>2</sup>坂東の所属する陸上部の部員。

モーション<sup>3</sup>動き。

サカトウ<sup>4</sup>陸上部内での坂東の呼ばれ方。

都大路<sup>5</sup>ここでは、全国高校駅伝大会のコースのこと。

問一 <sup>1</sup>ながら と同じ意味・用法の「ながら」を、ア、エから選び、符号で書きなさい。

ア 子どもながらによく我慢した。

イ 実践しながらの訓練を行う。

ウ 昔ながらのたたずまいが残る。

エ 発表を聞きながらメモをとる。

問二 <sup>2</sup>寸前 と同じ構成の熟語を、ア、エから選び、符号で書きなさい。

ア 規則 イ 寒暖 ウ 開会 エ 若者

問三 <sup>3</sup>思わず声が漏れてしまう とあるが、このときの坂東の気持ちとして最も適切なものを、ア、エから選び、符号で書きなさい。

ア 留学生選手の、今まで見たことがない走りを支えるしなやかな体つきに気づき、留学生選手の走る姿を見続けていられないほど動揺している。

イ 留学生選手の、今まで見たことがない走るために鍛えられた体つきに気づき、留学生選手の走る姿を見続けていられないほど落ち込んでいる。

ウ 留学生選手の、今まで見たことがない跳ねるように地面を蹴るフォームに気づき、留学生選手が過ぎ去るまで見続けるほど走る姿に夢中になっている。

エ 留学生選手の、今まで見たことがない歩幅の広いフォームに気づき、留学生選手が過ぎ去るまで分析しながら見続けるほど落ち着いている。

著作権に配慮して  
掲載を控えています

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

まってきたと同時に、走る前の心構えが整ってきている。

都大路のような大舞台は、 A (十五字) ため、この瞬間をじつくりと楽しみ、この舞台を  B (十二字) という図々しい気持ちが高

B にそれぞれ示した字数とする。

中から抜き出して書きなさい。ただし、字数は  A 、

ときの坂東の気持ちについて、本文を踏まえてまとめた一例である。

問五  早く、走りたい——とあるが、次の  内の文は、この

出しに続けて書くこと。

問四  緊張の気配が身体から消え去っている とあるが、緊張の気配が坂

東の身体から消え去ったのは、どのようなことを思い出し、足にどの

ような感じを受けたからか。三十五字以上四十字以内でまとめて書き

なさい。ただし、「走り」という言葉を使い、「咲桜莉が、」という書き

著作権に配慮して掲載を控えています

## 著作権に配慮して掲載を控えています

## 著作権に配慮して 掲載を控えています

「手の倫理」(伊藤亜紗)による。

(注) スライムゼリー状の物質。 坂部恵||日本の哲学者。

アプローチ||対象に迫ること。 ダイレクト||直接。

問一 <sup>1</sup> ない | と同じ品詞を含むものを、ア、エから選び、符号で書きなさい。

ア くじけない      イ 欠点がない

ウ 少ない            エ 頼りない

問二 <sup>2</sup> 抽象的 | の対義語を含むものを、ア、エから選び、符号で書きなさい。

ア 表面的なものの見方をする。

イ 具体的に例を挙げて説明する。

ウ 原因について論理的に考える。

エ 本質的な問題に直面する。

問三 「さわる」と「ふれる」という二つの触覚に関する動詞 とあるが、次

の表は、筆者が述べる「さわる」と「ふれる」の使い方について、本文中の対照的な表現を整理した一例である。

に入る最も適切な言葉を、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただし、字数は A B C D にそれぞれ示した字数とする。

「さわる」	「ふれる」
<p>A(三字) 〓 物的なかかわり</p> <p>〓 患者の体を C(五字)</p> <p>と捉えて見る態度</p>	<p>〓 相互的 〓 B(八字)</p> <p>〓 人が一点物のうつつわに「ふれる」</p> <p>〓 一点物のうつつわを D(五字)</p> <p>ように扱う態度</p>

問四 「ふれる」という言葉の使用を引き寄せている とあるが、対象が空

気である場合に、「ふれる」という言葉の使用が引き寄せられると筆者が考える理由として最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

- ア 空気の場合は、空気の動きがなくても、人が意志をもってはたらかかけて接触することに相互性がみられるから。
- イ 空気の場合は、空気を入れ替えることによつて、屋内の空気と屋外の空気とが接触することに相互性がみられるから。
- ウ 空気の場合は、人が意志をもつてはたらかけることと、空気が流れ込んできて接触することに相互性がみられるから。
- エ 空気の場合は、人の意志がなくても、空気が外から流れ込んできて接触することに相互性がみられるから。

問五 接触面には「人間関係があります」とあるが、接触面に人間関係が

あるのは、私たちが接触面を通してどのようなことを読み取り、どのようにすることもあるためと筆者は述べているか。三十字以上三十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「接触面を通して」という書き出しに続けて書くこと。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

近ごろの歌仙には、民部卿定家、宮内卿家隆とて、

一 双にいはいはれけり。そのころ、「われも、われも」とたしなむ  
(好んで歌に打ちこむ)

人多けれど、いづれも、この二人には及ばざりけり。  
(及ばなかった)

ある時、後京極摂政、宮内卿を召して、「この世に  
(お呼びになつて)

歌詠みに多く聞ゆるなかに、いづれかすぐれたる。  
(歌人が大勢知られる中で)

心に思はむやう、ありのままにのたまへ」と御尋ねありけるに、  
(思っていることを、正直にお話しなされ)

「いづれも分きがたく」と申して、  
(優劣のつけようがございません)

思ふやうありけるを、「いかに、いかに」と、  
(心にかけていることがありそうなのを) (さあ遠慮なく、遠慮なく)

あながちに問はせたまひければ、ふところより畳紙を落して、  
(ひたすらお尋ねになったので)

やがて籠り出でけるを、御覧せられければ、  
(そのまま退出してしまつた) (その紙をご覧になると)

明けばまた秋のなかばも過ぎぬべし  
(この十五夜が明けると、秋の半ばが過ぎてしまつたらう)

かたぶく月の惜しきのみかは  
(傾く名月が惜しいだけではない。過ぎゆく秋も惜しいのだ)

と書きたりけり。

これは民部卿の歌なり。かねて、かかる御尋ねあるべしとは、  
(前々から、このようなお尋ねがあるとは)

いかでか知らむ。もとよりおもしろくて、  
(どうして分かるうか) (もともと、この歌を趣があると思つて)

書いて持たれたりけるなめり。  
(紙に書いて持っていたのだらう)

「十訓抄」による。

(注) 畳紙||畳んでふところに入れておく紙。

問一 いはいはれけり を現代仮名遣いに改め、全て平仮名で書きなさい。

問二 あながちに問はせたまひければ とあるが、この場面の説明として  
最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

- ア 家隆の様子を見て、後京極摂政が家隆に対して尋ねた。
- イ 家隆の様子を見て、定家が後京極摂政に対して尋ねた。
- ウ 定家の様子を見て、家隆が後京極摂政に対して尋ねた。
- エ 定家の様子を見て、後京極摂政が定家に対して尋ねた。

問三 次の [ ] 内の文は、本文の内容をまとめた一例である。

A [ ]、 B [ ] に入る最も適切な言葉を、それぞれ現代語で書きなさい。ただし、字数は A [ ]、 B [ ] にそれぞれ示した字数とする。

家隆は、傾く十五夜の名月だけでなく、 A (五字) を惜しむ心情を詠んだ定家の歌を紙に書いて持っていたことから、前々からこの歌を B (四字) と考えていたことが分かる。

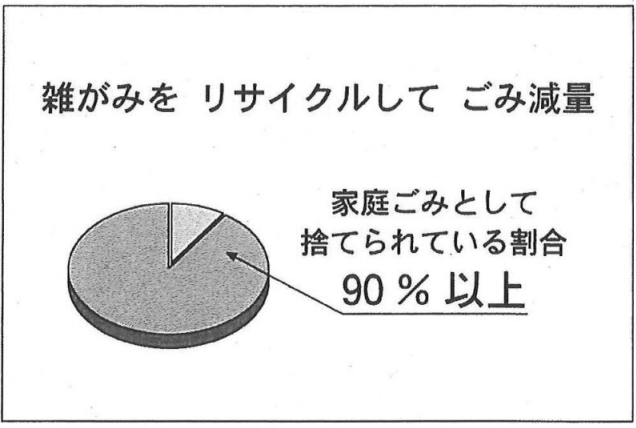
五

X市のある中学校では、「環境問題への取り組み」というテーマで調べ学習を行い、地域住民に向けてグループごとに発表することになった。田中さんたちのグループは、「家庭から出るごみを減らすためにX市が取り組んでいること」について調査した結果をもとに、発表原稿を作成した。次の [ ] 内の発表原稿の一部を読んで、後の問いに答えなさい。

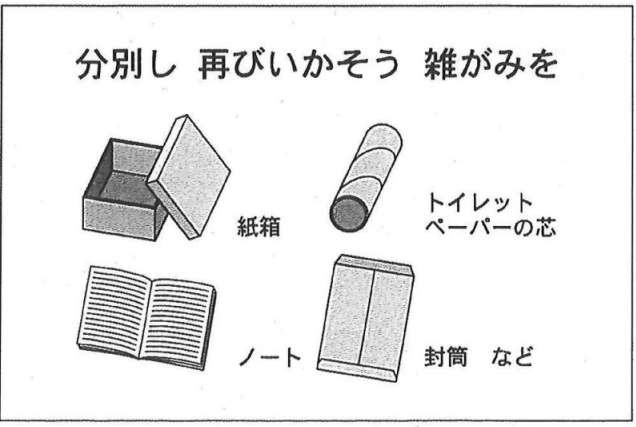
私たちは、家庭から出るごみを減らすためにX市が取り組んでいることについて、X市の職員の方がくれた資料をもとにまとめました。その結果について発表します。  
まずはこちらの紙製の空き箱をご覧ください。このような紙箱は「雑がみ」と呼ばれるものの一例です。X市では、紙箱・トイレットペーパーの芯・ノート・封筒などを雑がみとして、分別してリサイクルすることを推進しています。ところが、雑がみのうち九割以上が家庭ごみとして捨てられています。(以下略)

問一 くれた を「X市の職員の方」に対する適切な敬語表現に直して書きなさい。  
問二 田中さんたちのグループでは、雑がみを分別してリサイクルすることを呼びかけるちらしを地域に配布することになり、次の二つが候補となった。

【候補A】



【候補B】



- 候補A、Bのどちらを配布するのがよいと思うか。あなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成とし、第一段落ではあなたの考えを、第二段落ではその候補を選んだ理由を書きなさい。ただし、次の《注意》に従うこと。
- (一) 題名や氏名は書かないこと。
  - (二) 書き出しや段落の初めは一字下げること。
  - (三) 六行以上九行以内で書くこと。
  - (四) 候補AをA、候補BをBと書いてもよい。





国語解答 計100点

(注)ここに示した以外の細部については、学校ごとに統一すること。

問題	配点	正答	備考
一 20点	各2点 計20点	① あわ ② きよたく ③ たくえつ ④ はんぼう ⑤ いこ ⑥ 似 ⑦ 演 ⑧ 警察 ⑨ 勤勉 ⑩ 東	
二 25点	問一 3点 問二 3点 問三 5点 問四 8点 問五 各3点 計6点	問一 エ 問二 エ 問三 ウ 問四 自分の走りを楽しそうと感じてく れていることを思い出し、足に勇気 が宿ったような (三十八字) 問五 A 二度と経験できないかもしれ ない B 味わわないともったいない	問四 正答の一例である。 次の二つの内容が書かれていること。 ①「(咲桜莉が、)自分の走りを楽しそう と感じてくれていることを思い出し (た)」ということ。②「(自分の)足に勇気 が宿ったような感じを受けた」という こと。
三 25点	問一 3点 問二 3点 問三 各2点 計8点 問四 3点 問五 8点	問一 ア 問二 イ 問三 A 一方的 B 人間的なかわり C 科学の対象 D いつくしむ 問四 ウ 問五 相手の自分に対する「態度」を読み 取り、さまざまな接触的動作に移行 する (三十四字)	問五 正答の一例である。 次の二つの内容が書かれていること。 ①「(接触面を通して)相手の自分に対す る「態度」を読み取る」ということ。②「そ さまざまな接触的動作に移行すること もある」ということ。
四 15点	問一 3点 問二 4点 問三 各4点 計8点	問一 いわれけり 問二 ア 問三 A 過ぎゆく秋 B 趣がある	問三 正答の一例である。
五 15点	問一 5点 問二 10点	問一 くださつた 問二 (略)	問一 正答の一例である。 問二 内容①自分の考えが述べられてい ること。②そのように考えた理由が述べら れていること。と表記(表記等に誤りが なく、言葉の使い方が適切であること。 について、総合的に評価すること。